

九州心理学会第 68 回大会総会報告：於 大分大学 07/11/10

(1) 第 67 回大会決算報告（琉球大学）

同 監査報告 承認

(2) 事務局決算報告（九州大学）

同 監査報告 承認

(3) 平成 18 年度第 2 回優秀発表賞選考結果の報告

【優秀発表賞】 （1 件）

受賞者（所属）：藤田 敦 （大分大学教育福祉科学部）

発表題目：「概念の構造操作が転移可能性に及ぼす影響」

【若手研究奨励賞】 該当なし

(4) “優秀実践研究賞”の提案

昨年度、第 67 回大会での総会にて、学会の活性化を図るため、優秀発表賞ならびに若手研究奨励賞の他に、優れた実践研究に対しても賞を与えるべきではないかという“九州心理学会優秀実践研究賞”が提案され、承認された。そこで今大会での総会では、受賞対象や推薦形式、具体的な選考手続きなどについて提案され承認を得た。

なお、“優秀実践研究賞規程”に関しましては、大会終了後のメール理事会にて審議の後、来年度の第 1 号通信にて、会員の皆さまにご報告いたします。

(5) 第 69 回大会開催大学

北九州市立大学

(6) その他

【大会事務局における銀行および郵便局口座利息の処理について】

当年度大会事務局が開設した銀行および郵便局口座で発生した利息に関して、額が少額でありまた会計上の手続きが繁雑になることから、次年度大会事務局に繰り越すのではなく、当年度大会事務局において処理することが提案され、承認された。

【大会事務局の収入に関して】

大会事務局の主な収入源は、大会参加費や、学会事務局から移算される当年度会費の一部などであるが、その他、賛助団体などからの広告費の占める割合が大きい。しかし、その広告費は縮小傾向にあり、大会の運営に支障をきたす可能性があることから、学会事務局から

の支援を求めるといふ案が出された。しかし、現状のままでも運営することは可能であり、前年度からの繰越金による補填も可能と判断され、これまで通り、学会事務局からは当年度会費の一部の移算を行うことが承認された。

【優秀発表賞の副賞に関して】

優秀発表賞の副賞は学会事務局により回ごとに選ばれているが、物品ではなく、図書券などの汎用性の高いものに統一した方がよいのではないかという意見が提案された。しかし、後々に受賞の記念として残るようなものがよいという意見が出され、現状通り、学会事務局が物品を副賞として選ぶことが承認された。

(6) 九州心理学会大会優秀発表賞授与式

第 67 回大会で選ばれた第 2 回優秀発表賞に対して、賞状と副賞の授与が行われた。